

基礎看護学臨地実習I

必修

開講年次：1年次後期

科目区分：実習

単 位：1単位

講義時間：45時間

■**科目のねらい**：看護の対象となる患者および患者が生活する療養環境について観察やコミュニケーションの体験を通して理解を深めるとともに、臨床場面の参加観察および看護技術の一部実施を通して、専門職としての看護師の援助の専門性について考察する。また、看護学生として自主的・自律的な行動の必要性を認識し、今後の学修課題を考察する。

■**到達目標**：①「看護の対象を知る」ための方法を理解する。

②患者が生活する療養環境を理解する。

③専門職としての看護師の援助の専門性・独自性を理解する。

④看護学生としての自己が実習に与える影響を考慮して行動する。

⑤学習者として自主的・自律的に行動する。

⑥実習での学びをもとに専門職を目指す看護学生としての学修課題を明確にする。

■**担当教員**：【○は科目責任者】

◎古都 昌子・樋之津 淳子・定廣 和香子・大野 夏代・田中 広美・檜山 明子・石引 かずみ・柏倉 大作・近藤 圭子・田仲 里江・御厩 美登里・大友 舞・渋谷 友紀・中田 亜由美・星 幸江

■**授業計画・内容**：

実習施設 市立札幌病院、手稲溪仁会病院

別途配布する「基礎看護学臨地実習I 実習要項」に基づいて、オリエンテーションを行います。

詳細は実習要項を参照してください。実習に関する変更がある場合は、オリエンテーション時に説明します。

■**教科書**：なし

■**参考文献**：なし

■**成績評価基準と方法**：実習評価表に基づき、到達目標の達成度を評価基準として、下記のように評価します。ただし、2/3以上の出席を満たさない場合は評価の対象となりません。

評価方法	到達目標						評価基準	評価割合 (%)
	①	②	③	④	⑤	⑥		
実習内容・記録	◎	◎	◎	○	◎	◎	到達目標の達成度	80
レポート	◎	◎	◎			◎		20
出席							2/3以上の出席	欠格条件

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：看護学原論、看護観察技術論

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：1年次・前期の必修単位をすべて修得していることが望ましいです。看護職としての責任ある行動や態度について考察していただきます。対象や場に応じた挨拶、実習にふさわしい態度や身だしなみ、自己の健康管理に注意して取り組んでください。